

（継続保護事業用）

| 種別  | 氏名<br>生年月日 | 委託          |             | 任意          |             | 備考 |
|-----|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|----|
|     |            | 保護開始<br>年月日 | 保護終了<br>年月日 | 保護開始<br>年月日 | 保護終了<br>年月日 |    |
| ( ) | 年 月 日生     |             |             |             |             |    |

（一時保護事業用（甲））

| 種別  | 氏名<br>生年月日 | 保護開始<br>年月日 | 保護の内容 | 備考 |
|-----|------------|-------------|-------|----|
| ( ) | 年 月 日生     |             |       |    |

（一時保護事業用（乙））

| 種別  | 氏名<br>生年月日 | 保護開始<br>年月日 | 保護の内容  | 備考 |
|-----|------------|-------------|--|----|
| ( ) | 年 月 日生     |             | 1 金品給与 帰住旅費 ( )<br>食事費 ( )<br>その他 ( )<br>2 ( ) |    |

（備考）

1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 「種別」の欄には、次のとおり種別の番号を記載すること。

(1) 保護観察処分少年 (2) 少年院仮退院者 (3) 仮釈放者 (4) 保護観察付執行猶予者

(5) 婦人補導院仮退院者 (6) 刑執行停止中の者

(一) 刑執行終了 (二) 刑執行免除 (三) 刑執行猶予確定前 (四) 刑執行猶予確定後 (五) 起訴猶予

(六) 罰金又は科料 (七) 労役場出場・仮出場 (八) 少年院退院・仮退院 (九) 補導処分執行終了

(十) 実刑部分執行終了 (※)

(ア) 保護観察終了 (イ) 法定期間満了

(※) 「(十) 実刑部分執行終了」は、懲役又は禁錮の刑につき刑の一部の執行猶予の言渡しを受け、その猶予の期間中保護観察に付されなかった場合であって、その刑のうち執行が猶予されなかった部分の執行を終わったとき（その執行終了時に他に執行すべき懲役又は禁錮の刑があり、その刑の執行を終わったときを含む。）をいう。

3 一時保護事業用（乙）の記入に当たっては、次の事項に留意すること。

(1) 「保護の内容」の欄には、金品給与の場合には区分に応じて括弧内に給与した額を記入し、金品給与以外の場合には「2」にその内容を記載する。

(2) 「備考」の欄には保護の実施上特記すべき事項を記載するとともに、貸与した金品の返還があったときには、その日付、金額又は数量を記載する。